# ITSPプログラム マニフェスト

モデル化、抽象化、仮想化など 情報科学に関する系統化された 高度な知識体系、およびそれらを統合し 問題を解決するメタ技術を学び、 技術・社会情勢の変化に先見性をもって 対処できるIT人材を育成する

### マニフェスト目次

### マニフェスト本体

宣言

研究科から学生への 約束

キャリアパス モデル

希望するパスのための 必要なコンピテンシー を確認

コンピテンシー マップ

コンピテンシーを身に つけるための授業を 確認

カリキュラムマップ

授業同士の関連性と 体系性を理解する

### 補足資料

履修モデル

希望するパスのためにはどの授業を 履修するべきか

活用例

身につけたコンピテンシーの活用場面 をイメージ

## キャリアパスモデル

### 要素技術開発系

### 【主な就職先】

、 メーカ、大学・研究所<sup>)</sup> (研究職)



### 【要素技術力】

認知情報処理、HCI、 音声情報処理、画像情報処理、 自然言語処理、データマイニング 等の理論理解と応用力

### 研究力(メタ技術)

組織運営力

国際適応力

キャリアデザイン カ

基礎学力



### ソフトウェア開発系

### 【主な就職先】

情報産業、メーカ (SE、SW設計開発)



MAA ソフトウェアのモデリングと分析 DES ソフトウェア設計 VAV 検証と妥当性確認(V&V) EVO ソフトウェアの進化や保守 PRO ソフトウェア開発プロセス QUA ソフトウェア品質 MGT ソフトウェア開発のマネジメント

### 【基盤技術力】

CMP コンピュータ基礎 FND 数理基礎・工学基礎 PRF プロフェッショナルプラクティス

情報学研究科入学

		基礎学力														
		ソフトウェア工学(J07-SE)														
五カとコンピテンシー			Р	м						М						
			R F	A A			Е	Р		G T			研究			+
	С	F N	プ	ソ	D	v	V 0	R O	Q	y			究力	組	国	ヤリ
	M P	D		フト	E S	A V	ソ	y y	U A	フト			/	織	際	ア
	٦	数	고 ッ	호	ソ	検	フト	フト	y	ウェ			X	運	適	デ
	식	基	칠	アの	フト	証と	호	<sup>2</sup>	フト	ア			タ	運営	応	ザ
授業科目	1	礎	<del></del>	E -	호	妥当	アの	ア 開	호	開発			技	力	力	1
協働ワークショップ	タ 基	工学	ルプ	モデリン	ア 設	性確	進化	発	ア 品	のマ			彻			ン カ
合宿研修	礎	基礎	ラク	グ	計	認	や保	プロセ	質	ネジ			)			7,
口相划形			え	と分			守	z		У						
			ス	析						ント						
ソフトウェア設計技術				Δ	0		0									
ソフトウェア工学						0			0							
プロジェクトマネジメント								0		0						
アーキテクチャ設計論					0											
知的インタフェース論		0														
データ工学	0															
情報セキュリティ論	0															
情報システム評価論				0	Δ				Δ							
情報システム設計論				0	Δ				Δ							
IT技術倫理と社会			0													
認知科学論		0														
音声情報処理論	0															
画像情報処理論	0	_														
計算過程論		0														
離散情報理論		0														
Professional Presentations in English															Δ	
English Thesis Writing	_														Δ	
システム・ネットワーク論	0													Δ		
コミュニケーション論		0													Δ	
情報資源総論		0														
情報社会セキュリティ論	0					_			_							
ソフトウェア工学応用演習	,			0	Δ		Δ	0	Δ	0			_			
ソフトウェア工学実践研究	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ			0	Δ		
協働ワークショップ(学生主体活動) 研究フォーラム													0	0	Δ	^
<u>研究ノオーフム</u> 研究室横断プロジェクト													0		$\triangle$	
ITソリューション室																

〇獲得できるメインのコンピテンシーへ獲得できるサブのコンピテンシー

### カリキュラムマップ

情報処理支援、新たなコミュニケーション 人間の認知構造、新たな認知機構の 人間コミュニケーション、新たな表 社会構造の本質的理解、新たな情報社 基盤の開発 解明 現の発見 会基盤の構築 CS ID コンピューダ 情報処理手法を システム・組織を 社会・文化情報を 情報社会を システムを 対象とする 対象とする 対象とする 対象とする 対象とする ソフトウェア工学実践研究I・II (OJL: On the Job Learning) ソフトウェア工学応用演習 (PBL:Project-Based Learning) 要素技術力 コンテンツ設計・メディ システム開発・構築力 アデザインカ **教育情報システム論** 音声情報処理論 テクチャー設計論 車 画像情報処理論 情報システム評価論 門 知的インターフェース論 情報システム設計論 企業情報システム論 科 ネットワークシステム論 ソフトウェア工学 データ工学計算過程論 ソフトウェア設計技術 目 離散情報理論 プロジェクトマネジメント CS基盤技術力 IT基盤ソフトウェア工学 群 認知科学論、」丁技術倫理と社会、言語理論特論 融合科目群 情報セキュリティ論、システム・ネットワーク論、コミュニケーション論、情報資源論 インターンシップ、Presentations in English、English Thesis Writing 技能科目群 協働ワーク ITソリューション室、研究室横断型学生プロジェクト、合宿研修、研究フォーラム

ショップ

### ITSPプログラム 履修モデル

要素技術開発系 ソフトウェア開発系

授業科目	研究職 .	メーカ、情報産業など
ソフトウェア設計技術	0	0
ソフトウェア工学	0	0
プロジェクトマネジメント	0	0
ソフトウェア工学応用演習	0	0
専門科目群	専門に合わせて選択	専門に合わせて選択
Professional Presentations in English	0	*
English thesis writing	0	*
融合科目群	0	0

〇: 履修すべき科目 \*: 履修が望ましい科目

### ITプログラム 就職後のコンピテンシー活用例

### 要素技術開発

### 新技術実用化

### 新ITサービス開発

### 新しい技術を創出する

#### 【コンピテンシー】

- · 専門技術分野における 理論理解と応用力
  - 認知情報処理
  - HCI
  - 音声情報処理
  - 画像情報処理
  - 自然言語処理
  - データマイニング
  - 情報セキュリティ など(CSに準ずる)

### 新しい技術を実用化する

#### 【コンピテンシー】

- ・メタ技術
- ・ ソフトウェア工学の諸技術

### 様々な情報サービスを実現 する

### 【コンピテンシー】

- ・メタ技術
- ・ ソフトウェア工学の諸技術